

い救急外来受診，入院患者（院内発生）は除く）とする。また，起点は，外来受診又は救急車到着時点（受付時点）とする。終点は，検査開始時時点とする。

(31) **A S A 米国麻酔学会 (American Society Anesthesiologists) による分類**

該当する分類を“1”～“5”の値により入力する。

入院中，医療資源を最も投入した手術での値を入力する。

値	分類	所 見
1	I	器質的，機能的な疾患がなく心身ともに健康で，手術の対象となる疾患が限局性で全身性の影響をもたらさないこと。 たとえば，ヘルニア，小さな子宮筋腫などで，他にまったく異常がない場合。
2	II	軽度又は中等度の全身性疾患を伴う場合（軽症糖尿病，よくコントロールされている高血圧など）。
3	III	重症の全身病のある場合（運動が制限されるような心疾患，透析が必要な腎疾患，血管の合併症のある糖尿病など）。
4	IV	生命に危機のあるような重症全身疾患のある場合（酸素療法が必要な呼吸不全，重症肝機能障害，心不全など）。
5	V	死を目前にしている場合。

(32) **予定しない再手術（48時間以内）**

「無」は“0”を，「有」は“1”を入力する。1回目の手術は予定手術でも緊急手術でも問わない。

(33) **予定しない外来処置後の入院**

外来での診療・処置・検査中に状態が悪化して緊急入院となった場合「有」“1”を，「無」は“0”を入力する。

(34) **2日以内のICUへの再入室（48時間以内）**

「無」は“0”を，「有」は“1”を入力する。

(35) **ICUへの緊急入室**

「無」は“0”を，「有」は“1”を入力する。

Q&A

Q：ICUとはA300救命救急入院料，A301特定集中治療室管理料の届出を行った病室を指すのか。  
A：そのとおり。なおNICU，CCUは含まない。

Q&A

Q：心臓手術や脳外領域の術後の患者の場合，ICU管理が必要と予定される場合は「有」となるか。  
A：この場合は予定とし「無」となる。

(36) **入院時の妊娠週数**

(1)の現在の妊娠の有無が有りの場合，妊娠週数を最大2桁の数字で記入。親様式1，子様式1ともに入院時点のものを入力する。子様式1は転棟時点ではないことに注意する。

(37) **精神保健福祉法における入院形態**

任意入院の場合は“1”を，医療保護入院の場合は“2”を，措置入院の場合は“3”を，応急入院の場合は“4”を入力する。

(38) **精神保健福祉法に基づく隔離日数**

隔離とは、「精神科隔離室管理加算」の算定要件を満たすものに限らない。すなわち，12時間以内の隔離や7日を超える隔離も含め，精神保健福祉法に基づいて行われた全ての隔離を日数単位で記入すること。

(39) **精神保健福祉法に基づく身体拘束日数**

身体拘束とは，精神保健福祉法に基づいて行われる行為に限定され，点滴等を目的に同法に基づかずに短時間のみ四肢等の一部を拘束する行為は含まれない。また，同一日に複数回の身体拘束指示および解除が繰り返されても，1日として日数単位で記入すること。

(40) **入院時GAF尺度**

精神的健康と病気という1つの仮想的な連続体に沿って，心理的，社会的，職業的機能を考慮し，0から100の数値を入力する。この際，身体的（または環境的）制約による機能障害を含めないこと。（注：例えば，45，68，72のように，それが適切ならば，中間の値のコードを用いること）。医療資源を最も投入した傷病名がMDC17に該当した場合は入力必須とする。入院時に該当するGAFにより判断する。ただし，入院後に様式1範囲において発症した傷病が医療資源を最も投入した傷病になる場合は，発症時により判断する。

値	所 見
100	広範囲の行動にわたって最高に機能しており，生活上の問題で手に負えないものは何もなく，その人に多数の長所があるために他の人々から求められている。症状は何もない。